

【算数】

領域	算数
数と計算	下回っている
図形	下回っている
測定	下回っている
変化と関係	下回っている
データの活用	下回っている

資料3 は、伴って変わる 2 つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかを見ています。数量関係は、数直線図や線分図といった図を活用することで関係性をつかみやすくなります。今後も授業の中で、具体操作を多く取り入れ、図等に表すことで関係がつかみやすくなることを実感させていく必要性があります。そうすることで、家庭学習等でも子どもたちが自発的に図等を書き表す姿につながるように、今後も粘り強く授業改善に努めます。

【理科】

領域	理科
「エネルギー」を柱とする領域	下回っている
「粒子」を柱とする領域	下回っている
「生命」を柱とする領域	下回っている
「地球」を柱とする領域	下回っている

資料4 は、「エネルギー」を柱とする領域の問題です。電気の回路の作り方について、実験の方法を発想できるかが問われています。理科の授業では、これまでも実験・観察を柱にして取り組んできました。今後も、こうした活動を主軸に据えながら、考えた仮説と実験等の結果の違いにどんな原因が考えられるかといった、考えを構築する時間を大切にする必要があると考えられました。そのためにも、授業中の発言が重要になるため、自らの考えを表出したくなるように授業の形態を改善していく必要があります。授業の導入部分から、子どもたちが課題に対して前のめりになるよう提示の仕方などにも工夫を凝らせるように取り組み続けていきます。

この調査は、受験用の問題とは趣旨が違い、子どもたちがどのように学びを構築しているかを把握し、分析結果から授業改善につなげていくことを目的の一つとしています。今後の授業改善につながるように、研修等で論議を深めていきます。なお、掲載した問題文が小さくなってしまい、申し訳ありません。HP にも、この学校だよりを掲載してありますので、PC やスマートフォン等で拡大してご覧ください。よろしくお願いいたします。

